

令和2年度公益財団法人富山県健康づくり財団事業報告

公益財団法人富山県健康づくり財団は、県から指定管理者の指定を受け、県立施設の富山県国際健康プラザ、富山県立イタイイタイ病資料館の管理運営を行うとともに、財団自主事業として、富山県健康増進センターにおいて、施設内健診事業と集団検診事業を一体的に運営している。

令和2年度においては、新型コロナウィルス感染症対策のため、国際健康プラザにおいては、生命科学館の休止や健康スタジアムの一時休止をはじめ、営業時間や利用施設、入場者数の制限、多くの事業の中止を余儀なくされ、イタイイタイ病資料館においても県と連携をとりながら慎重に管理運営を行った。また、健康増進センターにおいても県内の健診施設の動向を参考に健診業務を一時休止した。

各施設での事業の実施に当たっては、新型コロナウィルス感染症対策に関する情報収集に努め、必要な対策を講じながら、本県における健康づくりの中核団体として、県民サービスの確保と業務の効率化に努めたところである。

第1 国際健康プラザ事業

国際健康プラザは、新型コロナウィルス感染症対策として、次の対応を行った。

- ・3月4日から生命科学館を休館
- ・4月2日から健康スタジアム、親子ふれあい広場及び託児室を休止
- ・4月18日から全面休館（ただし、屋外の芝生広場、トリムコースは利用可）
- ・施設の休止に伴う委託事業者等への休業補償（6割以上）を実施
- ・県有施設の臨時休館緩和方針（5月15日）をうけて、5月20日から国際健康プラザを開館し、生命科学館の周囲を利用可にするとともにパークゴルフ場を再開

6月10日から健康スタジアムの営業時間や利用施設、入場者数を制限して営業を再開し、その後も新型コロナウィルス感染防止に配慮しつつ、徐々に制限の緩和を図りながら運営を行ったが、前年度に比べ国際健康プラザの総利用者数は71.9%減、健康スタジアムの利用者数は77.5%減と大幅な減少となった。

○利用者総数

注1：（ ）は、1日当たりの利用者数　注2：内訳の「その他」は、講演会参加者、施設見学者等の数

区分	令和2年度（A）	平成31年度（B）	比較増減（A-B）
年間営業日数	251日	309日	△58日
総利用者数	72,738人（289人）	258,917人（838人）	△186,179人（△549人）
内訳			
健康スタジアム	41,568人（165人）	184,756人（598人）	△143,188人（△433人）
生命科学館	0人（0人）	27,870人（90人）	△27,870人（△90人）
屋外施設	30,107人（119人）	36,158人（117人）	△6,051人（2人）
その他（注2）	1,063人（4人）	10,133人（33人）	△9,070人（△29人）

1 指定管理事業

(1) 生命科学館事業

生命科学館は、新型コロナウィルス感染症対策のため、令和2年3月4日から引き続き年度内の運営を休止した。

ア 展示事業

児童や生徒にからだの仕組みや健康づくりの大切さを学習してもらうため、実際に自分で触れて操作してみる、参加体験型の常設展示。

(ア) 情報提供事業

a 企画展示 ○ 休止 (31年度 2回)

b 公開実験 ○ 休止 (31年度 9回、 参加者 238人)

(イ) 元気とやま健康情報コーナー

疾病予防、運動、栄養、休養、伝統医学に関する展示コーナー。 ○ 休止

イ ボランティア育成事業

常設展示の解説を担当するボランティアの接遇や知識の向上、情報交換のための研修会

○ 休止 (31年度登録者 8人)

ウ 校外学習の支援

保育園、学校等団体の校外活動としての来館者を受け入れ、健康づくりの啓発を実施した。

○42団体 利用者 2,265人 (31年度 129団体 利用者数 27,870人)

エ 親子ふれあい広場の活用

未就学児や保護者を対象にしたふれあいイベントとして、12月19日（土）に「クリスマスツリーをかざろう」を開催した。

○ ふれあいイベント 1回 参加者 17人 (31年度 3回、 78人)

(2) 健康スタジアム事業

4月2日から6月9日まで健康スタジアムを休止し、この間に新型コロナウィルス感染症拡大防止マニュアルを策定し、再開後の入館時受付チェック体制、スタジアム内の消毒、感染者発生時の対応等を確認した。

6月10日から健康スタジアムを再開し、

- ・営業時間を午前10時から午後5時まで、入場者数を常時70人以下に制限
- ・利用施設を大スタジオ、プールに限定
- ・利用時間を2時間以内に制限し、特別料金（500円）を設定

県の施策による障害者及びとやまっ子お祝いパス利用者のスタジアム料金を免除するとともに、財団独自に障害者の介助者1名についても利用料金を免除し、障害者が安心して利用できるように配慮した。

○減免利用者の状況

障害者 11,082人、介助者 924人、とやまっ子お祝いパス 768人

(31年度 障害者 27,490人、介助者 1,838人、とやまっ子お祝いパス 1,240人)

7月8日から温泉浴場「湯治庵」再開し、これに伴い、

- ・利用時間を3時間以内、特別料金を2時間700円、3時間1,000円に改定

同日以降、トレーニングゾーンやプールにおいて自由参加プログラムなど休止していた事業を徐々に再開し、新型コロナ対策に配慮しながら、健康づくりの実践指導を実施した。

7月18日から入場者数を當時100人以内に緩和

8月1日から30日まで屋外プールを供用

10月1日から、平日のうち火水木の営業終了時間を午後5時から午後9時に延長

1月16日から31日まで、火水木の営業終了時間を午後9時から午後8時に短縮

※本年4月1日から営業終了時間を一部延長

平日 午後9時（火水木に金を追加）、土日祝日 午後5時から午後6時に延長

ア 啓発普及事業

(ア) 健康づくり啓発実践事業（ヘルスプロモーションダイビング事業）

県民の健康づくりの拠点施設としての健康プラザの機能やノウハウを発揮し、運動・栄養・休養の支援といった観点から、啓発面及び実践面から総合的、集中的に取り組む事業。

a 宿泊体験型健康づくり事業

特定保健指導対象者及び糖尿病予備軍等を対象に、運動・栄養の実践を取り入れた宿泊体験事業。 ○ 中止 (31年度 1回 12人)

b いきいきウォーキング事業

運動を始めるきっかけとして取り組みやすいウォーキングについて、ノルディックウォーキング等の体験講座を開催した。○ 6回 参加者 75人 (31年度 6回 65人)

c リラックス体験・推進事業

健康づくりの休養を中心に休息や休養方法、リラックス法を提供・体験してもらう事業を開催した。 ○ 5回 参加者 47人 (31年度 4回 135人)

d 健康フェスティバル事業

健康づくりへの機運を醸成する啓発イベント。昨年度まで3年続けてファボーレ・太陽の広場で開催してきたが、今年度は中止した。 ○ 中止 (31年度 約1,100人)

e 健康づくり相談・支援事業

健康プラザの利用者に健康づくりについて気軽に相談してもらえるよう、健康スタジアム内で医師（対象コース加入者）や保健師、看護師、栄養士、健康運動指導士による健康相談を実施した。 ○ 相談件数 10人 (31年度 122人)

f 健康づくり講師派遣事業

県内市町村・関係団体等からの依頼に応じ健康プラザの職員（健康運動指導士・保健師・栄養士）を派遣し、健康づくりについて講義・指導を実施した。

○ 2回 (31年度 25回)

(イ) 健康医学講演会

広く県民を対象に、日常の健康法等をわかりやすく紹介する健康医学講演会を開催し、健康づくりの啓発普及に努めた。新型コロナウィルス対策のため定員を減らして実施した。

○ 8回開催 参加者 126人 (31年度 7回開催 参加者 255人)

実施日	講演テーマ	講 師	受講数
8月11日 (火)	閉じこもり生活で固くなった身体をほぐそう	健康運動指導士 日本武術連盟太極拳指導員 岡野和子 氏	14人
8月22日 (土)	新型コロナウィルス感染予防と健康づくりのために	高岡厚生センター氷見支所長 桜田惣太郎 氏	10人
9月19日 (土)	フランクリンメソッドによる内臓ムーブメントへのアプローチ① ～肺と心臓を意識して動いてみよう～	メープル薬局管理薬剤師 フランクリンメソッド・エデュケーター 見澤哲郎 氏	14人
9月26日 (土)	フランクリンメソッドによる内臓ムーブメントへのアプローチ② ～腎臓を意識して動いてみよう～	メープル薬局管理薬剤師 フランクリンメソッド・エデュケーター 見澤哲郎 氏	15人
10月17日 (土)	簡単気功で健康づくり① 気功体験	健康運動指導士 日本武術連盟太極拳指導員 岡野和子 氏	16人
10月31日 (土)	簡単気功で健康づくり② 気功体験	健康運動指導士 日本武術連盟太極拳指導員 岡野和子 氏	15人
10月24日 (土)	アロマテラピーの殺菌効果 ～肌に優しい消毒用ジェルを作ろう～	西尾薬局・フローラメディカ 薬剤師 フィトセラピスト 西尾茂美 氏	22人
11月7日 (土)	免疫力とハーブ療法 ～身体を温める入浴剤を作ろう～	西尾薬局・フローラメディカ 薬剤師 フィトセラピスト 西尾茂美 氏	20人

(ウ) 健康づくり講座

a PA (プロジェクトアドベンチャー) 講座

日常生活の中ではなかなか体験できない、集団の中での協力関係や信頼関係の大切さを実感してもらう体験型の講座だが、身体の接触を伴うことから中止した。

(参加者数)

(単位：人)

講 座 区 分		令和2年度(A)		平成31年度(B)		比較増減(A-B)	
		回 数	人 数	回 数	人 数	回 数	人 数
PA講座	半日コース			16	459	△16	△459
	1日コース	中止		9	206	△9	△206
	小 計			25	665	△25	△665

b 健康講話

健康スタジアムの利用者に限らず一般県民を対象に、健康づくり、疾病予防、介護予防等に関する情報を提供する「健康講話」を開催した（8月から実施）。新型コロナウィルス対策のため定員を減らして実施した。

(参加者数)

(単位：人)

講 座 区 分	令和 2 年度 (A)		平成 31 年度 (B)		比較増減 (A-B)	
	回 数	人 数	回 数	人 数	回 数	人 数
健康講話	6	102	5	114	1	△12

c 母親のための健康づくり講座（ヘルスアップママ講座）

乳幼児を持つ女性を対象に心身のリフレッシュや産後の体力回復等を目的に健康づくり講座。新型コロナウィルス感染症対策のため開催を中止した。

(参加者数)

(単位：人)

講 座 区 分	令和 2 年度 (A)		平成 31 年度 (B)		比較増減 (A-B)	
	回 数	人 数	回 数	人 数	回 数	人 数
ヘルスアップママ講座	中止		8	17	△8	△17

d 保養地講座

保養を目的に県内保養施設で行う 1 泊 2 日の講座。新型コロナウィルス感染症対策のため開催を中止した。○ 中止 (31 年度 18 人)

e 栄養講座

四季折々の旬の食材を使い、手軽にできるヘルシーな料理作りの講話と実習・試食を行う「四季のヘルシークッキング」講座。新型コロナウィルス感染症対策のため開催を中止した。○ 中止 (31 年度 4 回 49 人)

イ 調査研究事業

(ア) 富山県健康増進施設連絡協議会の運営

県内の運動型健康増進施設等 34 施設で構成する「富山県健康増進施設連絡協議会」を運営し、2 月 26 日（金）に総会・研修会を開催し、新型コロナ対策をテーマに ZOOM での参加も募り、情報交換を行った。

○ 1 回 参加者 12 人 (31 年度 参加者 6 人)

ウ 情報提供事業

(ア) ホームページ、フェイスブック及びメールマガジンの配信により、健康情報や最新のイベントに関する情報を提供した。

(イ) 健康ポケットカード等の配布並びに新聞記事への寄稿、雑誌等のマスメディアを通しての啓発普及を行った。

(ウ) 例年、富山県産業安全衛生大会、いきいきとやま健康と長寿の祭典に参加し、健康測定等を行っているが、新型コロナウィルス感染症対策のため開催が中止となった。

エ 人材育成事業

(ア) 健康づくり担当者研修会

県厚生センター、市町村等の健康づくり担当者、学校、企業の保健指導者を対象に、健康づくり事業の効果的推進役としての資質の向上を図るための研修会を開催した。

実施日	講演テーマ	講 師	受講者
11 月 25 日(水)	介護予防に役立つ健康づくり —フレイル対策を中心に—	富山県立大学工学部教養教育センター 介護予防研究室 講師 上村一貴 氏	20 人

(イ) 健康づくり指導者研修会・健康スポーツ医師研修会

県や市町村、学校、企業等の健康・保健指導担当者を対象とした「健康づくり指導者研修会」と県内の地域医療に関わる医師等を対象とした「健康スポーツ医師研修会」を開催した。(この研修会は、健康運動指導士や健康運動実践指導者の資格更新のための単位認定講座と、スポーツ医の資格更新に必要な地域医師研修会を兼ねて開催した。)

実施日		内 容	講 師	受講数
1月 23 日 (土)	午 前	(講義) 生活習慣病と運動	富山県高岡厚生センター 氷見支所 支所長 櫻田惣太郎 氏	指導者 9人 医師 15人 (午後の み)
		(講義) 運動実践時の新型コロナウィルス感染予防	富山県高岡厚生センター 氷見支所 支所長 櫻田惣太郎 氏	
	午 後	(講義) スポーツ障害と予防	富山県立中央病院整形外科部長 丸箸兆延 氏	

オ 実践指導事業

利用目的に応じて各専門スタッフが、総合的な健康づくり（栄養・運動・休養）プログラムを提供した。

(ア) 生活習慣病予防コース

健康増進や生活習慣病の予防・改善を目的に、個人に適した栄養・運動・休養プログラム等の健康づくり処方を提供し、本格的な健康づくりに取り組んでもらう事業。新型コロナウイルス感染症対策のため事業を休止し、12月に再開したが参加がなかった。

(参加者数)

(単位：人)

コース名	令和2年度 (A)	平成31年度 (B)	比較増減 (A-B)
6ヶ月充実コース	0	9	△9

(イ) 健康保持コース

健康・体力の保持増進を目的に、日常生活問診や体力測定の結果に基づき個人にあった健康づくり処方を提供し実践指導を行った。新型コロナウィルス感染症対策のため1回当たりの受け入れ人数を半数に減らして10月から事業を実施した。

(参加者数)

(単位：人)

コース名	令和2年度 (A)	平成31年度 (B)	比較増減 (A-B)
健康づくり通信指導コース	0	1	△1
体力測定コース	3	153	△150

(ウ) 子ども(親子)のコース（子どもの健康づくりコース）

親子で参加してもらい、運動や栄養などについての知識を深めるとともに、実技にも取り組んでもらうコース。新型コロナウィルス感染症対策のため開催を中止した。

○ 中止 (31年度 10人)

(エ) 高齢者向けコース（いきいきコース）

65歳以上の高齢者を対象に生活体力測定を行い、その結果に基づいたプログラムを提供し実践してもらった。新型コロナウィルス感染症対策のため受け入れ人数を半数に減らして10月から事業を実施した。 ○ 参加者 131人 (31年度 694人)

(オ) セルフコース

健康スタジアムを継続利用しやすいように、利用する時間帯に応じてコースを設け、期間利用券を発行して、健康の維持増進に取り組んでもらった。

新型コロナウィルス感染症対策のため、4月2日以降、期間利用を休止するとともに、期間利用券を有する利用希望者には、7月から1回3時間500円の割引料金を適用した。その後、12月から希望者には期間利用券による利用を再開した。

(利用者数)

(単位：人)

区分	利用形態	期間	申込者数	延べ利用者数
平日ディ	月～金(祝日を含み、休館日を除く)の10:00～17:00利用	1カ月	168	2,136
		3カ月	0	137
		6カ月	0	156
平日プラスA	月～金(祝日を含み、休館日を除く)のフルタイムと土日祝日の17:00以降利用	1カ月	3	30
		3カ月	0	3
		6カ月	0	15
平日プラスB	月～金(祝日を含み、休館日を除く)のフルタイムと土日祝日の10:00～12:30利用	1カ月	15	247
		3カ月	0	1
		6カ月	0	75
休日プラス	平日17:00以降と土日祝日のフルタイム利用	1カ月	119	1,244
		3カ月	0	53
		6カ月	0	212
フリー	全営業日のフルタイム利用	1カ月	56	1,065
		3カ月	0	81
		6カ月	0	921
計			361	6,376

(カ) 健康測定

健康づくりのきっかけづくりとして、手軽な料金で健康度を測定できる各種健康チェックを実施した。(ゆらぎ測定は令和2年度よりストレスチェックと同時チェック)

(利用者数)

(単位：人)

コース名	令和2年度(A)	平成31年度(B)	比較増減(A-B)
骨密度チェック	55	373	△318
貧血チェック＆食事バランスチェック	9	105	△96
血管年齢老化度とストレス度チェック(ゆらぎ測定)	9	17(18)	△8(△9)
(ゆらぎ測定)	—	18	(18)
内臓脂肪チェック	3		△61

(キ) 自由参加プログラム

トレーニング・プールエリアで、利用者の利用形態に応じた内容を工夫し、自由に参加できるプログラムを実施した。新型コロナウィルス感染症拡大防止の観点から、参加者の密集を避けるため、小スタジオのプログラム実施場所を大スタジオに変更し、開催数を減らすとともに運動強度を抑えて実施した。

○ 参加者 17,789人

(31年度 参加者 78,931人)

(ク) ちびっ子室（託児室）の運営

子育て中の利用者にも安心して利用してもらえるよう、保育士が健康スタジアム内にある「ちびっ子室（託児室）」でお子さんを預かるサービス。新型コロナウィルス感染症対策のためサービスを休止した。

- 休止 (31年度 731人)

(ケ) 健康相談

健康プラザの利用者には疑問点等について気軽に相談してもらい、より安全に健康づくりに取り組んでもらうため、健康スタジアムにおいて医師（対象コース加入者）や保健師、看護師、栄養士、健康運動指導士等が健康相談に応じた。

- 相談件数 10件（再掲） (31年度 122件)

(コ) 医療費控除の証明

健康プラザは厚生労働省の「温泉利用型健康増進施設」及び「指定運動療法施設」の指定を受けており、医師の処方に基づき健康状態の改善を目的に健康スタジアムを利用した場合に医療費控除の対象となることから、該当者に対し証明書の発行を行った。

- 発行件数 4人 (31年度 12人)

(サ) 指導・監視等業務

トレーニング・プール・バーディゾーンの利用安全確保の観点から各エリアに職員を配置し、指導・監視業務を実施した。

(3) 屋外健康づくり施設の管理

6haを超える屋外健康づくり施設を無料で開放し、緑あふれる環境の中で楽しく健康づくりができるよう施設の維持管理に努めた。新型コロナウィルス対策として、利用者にはマスクの着用等を呼び掛けた。

- 利用者 30,107人 (31年度 36,158人)

- うち、パークゴルフ場利用者数 20,422人 (31年度 24,408人)

<主な施設> パークゴルフ場、健康遊歩道、トリムコース、じゃぶじゃぶ池、薬木の径、ハーブ園、薬草園、イベント広場

(4) 利用者への対応

ア 公募型利用者モニターアンケートの開催

健康プラザの運営改善を図るため健康スタジアム利用者の中からモニターを公募し、利用者モニターアンケートを開催し、利用者の意見の反映に努めた。

- モニター登録：8人、モニターアンケートの開催回数：2回（12月、2月）

（31年度 モニター登録：8人 モニターアンケート開催数：2回）

イ ご意見・ご提案箱の設置

館内に「お客様の声回収箱」を設置して利用者の要望や苦情等を提出してもらい、ご意見、ご要望に対する回答を館内にポスター掲示するとともに、必要な改善措置を講じた。

(5) 利用促進の方策

ア 市町村と連携した利用促進

健康プラザから比較的遠く、利用の少ない市町村の人たちに、施設ができるだけ利用してもらうための「市町村の日」を設けたが、新型コロナウィルス感染症対策のため、希望のあった市町村を9月から受け入れた。

- ・個人、団体の料金の半額利用、いきいきコース料金等の補助やバス送迎の実施

- ・宿泊体験型健康づくり事業は、中止

○ 市町村の日： 3市町村 利用者数： 71人 (31年度 10市町村 282人)

イ 送迎バスの運営

市町村が実施する高齢者の健康づくり事業や児童クラブ、地域団体の送迎を行い、健康スタジアムの利用拡大に努めた。

○ 10団体 133人 (31年度 56団体 1,652人)

ウ PR事業やイベントの実施

健康プラザを広く県民に知ってもらい、楽しく利用してもらうため、例年、次の各種イベントを行っているが、新型コロナウィルス感染症対策のため開催を中止した。

(ア) 「開館記念イベント」

(イ) 「敬老の日イベント」

(ウ) 「年始イベント」の新春サービス及び新春もちつき大会

(6) 地域等との連携

ア 地元等との連携

富山県国際健康プラザ協議会を開催し、周辺地域住民との連携を密にして施設の円滑な運営を図るため地元関係者と協議した。

○ 協議会開催回数：2回 委員数 13人 (31年度 開催回数：4回、委員数 13人)

イ とやま健康パーク友の会との連携

健康プラザ利用者のための会員組織「とやま健康パーク友の会」の運営は、新型コロナウィルス感染症対策のため事業を休止し、会員資格を先送りした。12月からは健康スタジアム利用については従来通りの割引で利用を受け入れた。

○ 会員数 個人会員 292人、団体会員 71団体 (前年度の会員数を継続)

(31年度会員数 個人会員 292人、団体会員 71団体)

ウ イタイイタイ病資料館との連携

イタイイタイ病資料館と連携して資料館の見学と健康プラザ体験をセットにし、小・中学生、町内会等の団体を対象とする健康づくりの啓発普及コース。新型コロナウィルス感染症対策のため休止した。

○ 休止 (31年度 188人)

エ 健康増進センターとの連携

関連施設である富山県健康増進センターにおいて施設内健診や集団検診を行った受診者を対象に、健康づくりのきっかけとなるよう健康プラザの割引利用券を配布するもの。新型コロナウィルス感染症対策のため利用を休止したが、12月から利用を再開した。

○ 利用数 215 枚 (31年度 1,814枚)

オ その他団体との連携

啓発普及事業として行つたいきいきウォーキング事業の一部について、他の団体と運営やPRを連携し実施した。

連携団体名	実施日	会場
(公財)富山県民福祉公園	11月1日(日)	県民公園新港の森

2 自主事業

(1) 県等委託事業の受託

ア 職場の健康づくり活動の支援

健康保険組合や共済組合等から依頼を受け、所属員の健康的な生活習慣づくりを目的とした研修、体力測定、運動の実践を請け負う事業。新型コロナウィルス感染症対策のため、例年実施の団体等との協議により、多くが取り止めとなった。

団体名	事業名称等	回数	参加者
富山県	ヘルスアップスポーツセミナー	0回	0人
	職員プロジェクトアドベンチャー講座	0回	0人
地方職員共済組合富山県支部	ヘルスアップスポーツセミナー	0回	0人
富山県警察共催組合	若手職員のための「心と体のヘルスアップセミナー」	0回	0人
	採用 10 周年「心と体のヘルスアップセミナー」	0回	0人
	健康づくり教室における講師派遣業務	0回	0人
教職員厚生会		0回	0人
富山第一銀行健康保険組合		0回	0人
黒部市(国保)	健康パーク健康づくり事業	2回	27人

イ 生活習慣改善ヘルスアップ事業

県等から委託を受けて実施する健康づくり事業。新型コロナウィルス感染症対策のため、取り止めとなった。

(ア) とやま健康合宿

メタボ該当者を対象に、運動や栄養に関する生活習慣の改善が図られるよう、日帰り又は宿泊の体験型健康づくりセミナー。

○ 中止 (31年度 日帰りコース 4回 計39人、宿泊コース 4回 計37人)

(2) 特定保健指導事業

厚生労働省の標準的な保健指導プログラムに、健康スタジアムの体験利用や健康相談のサービスを加えて、9月15日以降、次の2コースを実施した。

コース名	利用者
動機づけ支援コース	39人
積極的支援コース	17人

(3) 教室事業

健康づくりを支援するため、健康プラザが会場を提供し、教室の講師を公募して、意欲のある人が誰でも自由な発想で健康づくり事業を主催できる県民参加型の事業。新型コロナウィルス感染症対策のため開催を中止した。

区分	教室名	開催時期	参加者
運動系	カターレダンス	通年	中止

(4) 特別有料プログラム

更なるレベルアップを図りたい継続利用者の要望を考慮して、小スタジオにおいて運動強度の強いプログラムを有料で実施するもの。新型コロナウィルス感染症対策のため休止した。

- 休止 (31年度 1,629人)

(5) 介護予防指導者養成研修会

富山県内の地域包括支援センター職員を対象に、介護予防に役立つ運動機能向上に関する知識習得と技術スキルの向上を図るための研修会を開催した。

ア 富山県介護予防指導者養成研修会

- 1回 参加者 10人 (31年度 2回 参加者 18人)

イ 富山県介護予防指導者実務（フォローアップ）研修会

- 実施せず (31年度 2回 参加者 7人)

(6) 健康づくり講師等の派遣事業（再掲）

健康プラザ職員(健康運動指導士・保健師・栄養士)が、県内市町村・企業、地域団体等の要望に応じて施設内及び各地に出向き、健康づくりの啓発普及に努めた。新型コロナウィルス感染症対策のため10月から実施した。

- 2回 (31年度 25回)

第2 イタイイタイ病資料館事業

1 イタイイタイ病資料館（指定管理事業）

イタイイタイ病資料館は、年度当初の臨時休館後、感染防止対策を講じた上で事業を再開し、イタイイタイ病に関する貴重な資料や教訓を後世に継承するため、県が企画立案を行い決定した事業内容に基づき、県と十分連携を図りながら事業を実施した。

新型コロナウィルス感染症対策のため、4月18日から5月10日まで臨時休館となり、この間に感染拡大防止対策の策定と委託事業者への休業補償を行った。

（1） 資料継承事業に関する業務

県の指示に基づき、収集資料の保存管理、新規収集資料の分類、収集資料のデータベースの更新を行った。

ア 収集資料の保存管理業務

収集資料を適正な管理下で保存保管し、資料室（収蔵庫）、図書閲覧室（視聴覚室）及び収集資料の定期的な点検確認を行った。

イ 新規収集資料の分類業務

県で計画的に収集する資料について、県で定める方法により、適正に分類、整理した。

ウ 収集資料のデータベースの更新業務

県で新たに収集した関係資料の基本情報を県が整備したデータベースに入力した。

また、県の指示に基づき、収蔵資料を調査し、既に県で入力済の各データの加除修正を行った。

（2） 教育啓発事業に関する業務

ア 展示ガイドの増刷業務

県が提供する版下により、展示ガイドを増刷（日本語を1,500部）した。

イ 団体利用者の予約受付及び団体受入れ時の対応協力業務

県と調整して団体利用者の予約受付、受入れ準備、誘導、語り部講師や展示解説の補助を行った。

ウ 小中学校等に対する学習支援業務

小学校等における学習支援の一環として、授業で活用できる副読本を配布した。

○ 県内 194 箇所 9,540 部 (31年度 197 箇所 9,678 部)

エ 研修イベント事業に関する業務

県が企画立案し実施したイベント事業の準備や実施の補助を行った。

（ア） 子供向けイベント

a イタイイタイ病資料館夏休み親子見学ツアー^{（新）}

○ 開催日： 8月14日（金）～16日（日） 場所： 資料館

○ 参加者 17人

※イタイイタイ病を学ぶツアー、夏休み自由研究講座等、例年8月に実施していた事業が中止され、その代わりに実施した。

(イ) 教員向け研修イベント

○ 開催日：12月26日(土) 場所：資料館

○ 参加者 15人 (31年度 参加者 17人)

※例年8月に実施していたが延期

(ウ) 一般向け研修イベント

a 春の特別企画展

・「公害資料館ネットワーク共通パネル展示」

○ 開催日：5月12日(火)～15日(金)

※例年実施していた「イタイイタイ病公開講座」、「イタイイタイ病映像展」、「四大公害病の語り部講話を聴く集い」、「イタイイタイ病を考える県民フォーラム」は開催が見送られた。

オ サテライト啓発業務

イタイイタイ病への関心を広げていくため、県内の公的施設等においてイタイイタイ病に関する映像放映やパネル展示を行った。

○ 開催数 9箇所

(富山市、高岡市、黒部市、砺波市、小矢部市、滑川市民プラザ、上市町つるぎふれあい館、魚津市立図書館、北陸銀行富山南支店)

(31年度 9箇所)

(富山市、南砺市、射水市、舟橋村、上市町、上市町つるぎふれあい館、立山町、入善町、朝日町)

カ 国際健康プラザとの連携事業の実施業務

国際健康プラザで実施している「市町村の日」や講師派遣事業等においてイタイイタイ病資料館の普及活動を行った。

(ア) 資料館の見学と国際健康プラザ利用をセットとしたコースの実施

資料館の見学と国際健康プラザ利用（健康スタジアム内の健康づくり体験等）をセットとしたコース。

○ 休止 参加者0人 (31年度 5回 参加者188人)

(イ) 健康講話・健康医学講演会の開催

国際健康プラザにおいて、一般県民を対象に開催している健康医学講演会で、環境と健康に関する内容をテーマとして取りあげた。

○ 3月13日(土) 参加者21人 (31年度 参加者46人)

(ウ) 市町村の日の活用

国際健康プラザにおいて、市町村と連携して実施している「市町村の日」事業で、パンフレットの配布を行った。

(エ) 市町村等各種団体への訪問による普及活動

国際健康プラザにおいて実施している市町村や各種団体への健康づくり講師派遣事業で、資料館の説明や利用案内、パンフレット等を配布し、普及活動を行った。

キ その他資料館の利用促進業務

国際健康プラザを利用する団体や健康パーク友の会を対象に説明、利用案内やパンフレットの配布を実施した。

また、県からの委託を受け、県内の学校がイタイイタイ病資料館を見学する場合に無料送迎バスを提供した。

○ 実施回数 73 団体 参加者 3,481 人 (31 年度 81 団体 参加 4,377 人)

(3) 情報発信業務に関する業務

ア みんなの声コーナーのモニター表示管理業務

感想等を表示する「ふり返り展示システム」にイタイイタイ病資料館に寄せられた感想等を確認し、県と調整し表示するものを選定しシステムに登録した。

○ 投稿数 159 件 登録件数 16 件 (31 年度 投稿数 337 件 登録件数 37 件)

イ ホームページの更新業務

県が開設したホームページの掲載情報等（情報の企画立案、内容変更は県が行う）の管理運営を行い、定期的に更新を行った。

○ アクセス回数 98,751 件

ウ メールマガジンによる情報提供事業

県と調整して、メールマガジンの掲載情報を作成し、登録者へ定期的に配信した。

エ 研修イベントなどのチラシ・ポスター作成等業務

資料館で研修イベント等を実施するにあたり、県で決定した内容をふまえ、チラシ、ポスター等を作成し効果的に P R できるよう適切に配布、掲示を行った。

第3 健康増進センター事業

健康増進センターにおいては、新型コロナウィルス感染に対処するため、施設内では、令和2年2月下旬から一人一人の検査が終了する前後に、手や耳、頸などの機械への接触箇所を70%アルコールで清拭するとともに、階段の手摺や机、椅子など受診者が触れるような所についても定期的に清拭している。

施設面においては、3月には受診者用として足踏み用の除菌液を設置や、6月には非接触型の体温測定器も設置した。そのほか、健診時の密を避けるため、受付時等の間隔確保や、受付にビニールカーテンの設置、あるいは待合室も新設した。（感染症対策助成金(1,000千円)）

なお、全国に及ぶ緊急事態宣言に応じ4月22日から5月6日まで健診は休業した。また、5月～6月にかけた受診者の減少により健診事業が縮小したため、職員を交替で休業させ休業手当を支給した。（休業手当の支給には、緊急雇用調整金を活用した(4,100千円)）。

4月～6月の減収の状況から、年間数億円の赤字が想定されたが、7月以降9割方回復したことから最終的には、約7,000万円の赤字にとどめることができた。

1 健康診断事業

(1) 施設内健診事業

検診者総数は19,276人で、前年度に比べ1,705人(△8.1%)減少した。

コース別では、総合健診コースは311人(△6.2%)、協会けんぽコースは594人(△6.7%)、定期健診は721人(△11.4%)、保険診療は79人(△10.1%)と全ての検診において減少となった。

＜令和2年度 健診実施状況＞ (単位：人)

区分	令和2年度(A) (検診日数：241日)		平成31年度(B) (検診日数：239日)		比較増減(A-B) (検診日数：+2日)	
	年間健診 人 数	1日当り 人 数	年間健診 人 数	1日当り 人 数	年間健診 人 数	増減率 (%)
総合健診コース	4,700	19.5	5,011	21.0	△ 311	△ 6.2
協会けんぽコース	8,289	34.4	8,883	37.2	△ 594	△ 6.7
小計	12,989	53.9	13,894	58.1	△ 905	△ 6.5
定期健診	5,584	23.2	6,305	26.4	△ 721	△ 11.4
保険診療	703	2.9	782	3.3	△ 79	△ 10.1
合計	19,276	80.0	20,981	87.8	△ 1,705	△ 8.1

(2) 集団健診事業

集団検診者総数は218,435人で、前年度に比べ38,773人(△15.1%)減少した。

検診別では、全ての検診で受診者が減少し、中でも胃がん検診8,296人(△38.1%)、大腸がん検診6,948人(△34.8%)が大きく減少した。

<令和2年度 各部門別検診実施状況>

(単位：人)

区分	令和2年度(A)		平成31年度(B)		比較増減(A-B)	
	年間健診 人 数	検 診 車 稼働台数	年間健診 人 数	検 診 車 稼働台数	年間健診 人 数	増減率 (%)
胃がん検診	13,488	585	21,784	870	△ 8,296	△ 38.1
子宮がん検診	36,509	355	43,795	482	△ 7,286	△ 16.6
乳がん検診	21,062	321	24,831	482	△ 3,769	△ 15.2
肺がん検診(結核含)	54,323	612	57,649	628	△ 3,326	△ 5.8
大腸がん検診	13,038	-	19,986	-	△ 6,948	△ 34.8
循環器検診	77,760	-	86,435	-	△ 8,675	△ 10.0
特定保健指導	768	-	837	-	△ 69	△ 8.2
骨粗鬆検診	1,487	21	1,891	25	△ 404	△ 21.4
計	218,435		257,208		△ 38,773	△ 15.1

注：高山市等岐阜県内の検診人員、検診車台数については別途記載

2 がん対策普及調査事業

(1) 普及啓発事業

① がん征圧月間運動の実施

9月のがん征圧月間に、がん予防に関する正しい知識の普及と早期発見、早期治療の大切さを訴えるため、パンフレットやポスターの配布、懸垂幕の掲示等により、検診勧奨の普及を図った。

- ・実施期間 9月1日（火）から30日（水）まで

② 日本対がん協会維持会員の募集

がん征圧運動を実施するため、県、市町村、医師会、事業所等の協力を得て、日本対がん協会維持会員の募集と募金を行った。

- | | | | | | | | |
|----------|-----|-----|----------|--------|-----|---|----------|
| ・個人維持会員数 | 84人 | 募金額 | 186,000円 | (31年度) | 93人 | : | 215,000円 |
| ・法人維持会員数 | 24人 | 募金額 | 290,000円 | (31年度) | 26人 | : | 310,000円 |
| ・募金総額 | | | 476,000円 | (31年度) | | | 525,000円 |

③ 講演会

例年、市町村や事業所等の要望に応じて職員を派遣し、がんや生活習慣病予防に関する講演を行っているが、コロナ禍により実施しなかった。

- ・講演回数 年間0回実施 (31年度 年間4回)

④ 視聴覚教材の貸出し

健康づくりに関する視聴覚教材を市町村、事業所、学校等へ貸し出し、疾病予防や健康づくりの啓発を行った。

貸出実績

区分	2年度	31年度
ビデオ(DVD)	0件	1件
模型	1件	6件
パネル	8件	28件
合計	9件	35件

(2) がん基金事業

富山県がん対策基金の運用益により、街頭キャンペーン等がん予防に関する普及啓発を行うとともに、がん予防技術者の研修助成を行った。

① がん征圧月間（9月）におけるキャンペーン

ア がん予防展示コーナーの設置

- ・例年、国際健康プラザで実施しているが中止した。

イ 新聞広告による普及啓発の実施

- ・9月1日（火）朝刊 3紙 約35万部発行（クイズ形式で掲載）

② 世界禁煙デー（5月31日）のキャンペーン

「世界禁煙デー」及び「禁煙週間」の期間中、検診車5台に大版シール（標語）を貼り、視覚に訴える啓蒙普及を検診活動とともに展開した。

- ・実施日 5月24日（日）から6月6日（土）まで

③ 富山県がん検診普及啓発キャンペーンの実施

コロナ禍により規模を縮小してキャンペーンを実施した。

・10月31日（土）、11月1日（日） 富山産業展示館で出展

・10月 ピンクライトアップ 富岩運河環水公園や県庁前噴水公園など3ヶ所

④ 講演会・報告会の開催

・例年3月に、「受診者拡大の方策」と題する講演会や集団検診実施状況報告会を開催しているが、コロナ禍によりそれらを中止し、受診者回復の方策にかかるアンケート調査を行った。

⑤ 研修会等派遣の助成

がん検診に従事する医療技術者の研修会等派遣の助成を行い、検診や読影技術等の向上を図ることとしているが、今年度は昨年に引き続き新型コロナウィルス感染症の影響により、研修会自体が中止となった。

（助成予定人員 5名 （31年度：0名））

3 複十字シール募金事業

（1）複十字シール運動の実施

結核予防運動を推進するため、県、市町村、婦人会等各種団体の協力を得て複十字シール募金活動を行った。（募金総額 2,099,600円 （31年度：2,061,255円））

（2）結核予防週間の普及啓発活動

結核予防週間を中心として、ラジオスポット放送・懸垂幕の掲示やポスターの配布等を行い、富山県結核予防婦人会（富山県婦人会）の協力を得て全国統一の街頭キャンペーンを実施し、結核に対する関心と予防思想の普及啓発に努める予定だったが、コロナ禍により中止となった。

・ラジオ放送及びポスターの掲示

実施期間 9月24日（木）から30日（水）まで

・街頭キャンペーン

例年、富山市・グランドプラザ周辺で実施しているが、コロナ禍により中止した。

・懸垂幕の掲示

実施期間及び場所 9月1日（火）から30日（水） 富山市役所広告塔

4 高山市等岐阜県内の集団検診事業

検診者総数は、11,741人で、前年度に比べ1,767人（△13.1%）の減少となった。

検診別では、子宮がん検診で840人（△13.2%）、乳がん検診で815人（△12.8%）、骨粗鬆症検診で113人（△14.2%）と全てにおいて減少した。

＜令和元年度 高山市等検診実施状況＞

（単位：人、台）

区分	令和2年度(A)		平成31年度(B)		比較増減(A-B)	
	年間健診人數	検診車稼働台数	年間健診人數	検診車稼働台数	年間健診人數	増減率(%)
子宮がん検診	5,522	99	6,362	109	△ 840	△ 13.2
乳がん検診	5,535	99	6,350	109	△ 815	△ 12.8
骨粗鬆症検査	684	18	797	18	△ 113	△ 14.2
計	11,741		13,509		△ 1,768	△ 13.1

第4 評議員会及び理事会の開催状況

1 評議員会

(1) 第1回臨時評議員会

開催日 令和2年4月1日（水）
開催場所 （書面による決議）
決議議案 議案第1号 評議員2名選任の件
議案第2号 理事1名選任の件
議案第3号 監事1名選任の件

(2) 定時評議員会

開催日 令和2年6月17日（水）
開催場所 富山県民会館701号室
決議議案 議案第1号 平成31年度決算の件
議案第2号 役員選任の件
報告事項 新型コロナウィルス感染症対策や体制について

(3) 第2回臨時評議員会

開催日 令和2年7月7日（火）
開催場所 （書面による決議）
決議議案 議案第1号 役員選任の件

2 理事会

(1) 第1回理事会

開催日 令和2年5月28日（木）
開催場所 富山県民会館701号室
決議議案 議案第1号 平成31年度事業報告の件
議案第2号 平成31年度決算の件
議案第3号 役員候補者の件
議案第4号 評議員会の招集の件
報告事項 職務の執行の譲許の報告

(2) 第2回理事会

開催日 令和2年6月17日（水）
開催場所 （書面による決議）
決議議案 議案第1号 業務執行理事選定の件

(3) 第3回理事会

開催日 令和2年7月7日（火）
開催場所 （書面による決議）
決議議案 議案第1号 役員候補者の件
議案第2号 評議員会開催の件

(4) 第4回理事会

開催日 令和3年3月19日（金）
開催場所 富山県民会館 701号室
決議議案 議案第1号 令和2年度補正予算の件
議案第2号 令和3年度事業計画の件
議案第3号 令和3年度収支予算の件
議案第4号 令和3年度資金運用方針の件
報告事項 職務の執行の譲許の報告